

ポルト、マルセイユ、ポンペイの旧跡、アテネ、
エジプトのピラミッド、イスタンブール……。
母と娘の地中海を巡る船旅は、
遙かなる時空の旅だった。

©Madragoa Films, Gemini Films, 2003



2003年ヴェネツィア国際映画祭正式出品

「メフィストの誘い」「クレヴの奥方」「家路」

マノエル・ド・オリヴェイラ監督最新作

A Talking Picture

カトリーヌ・ドヌーヴ

「8人の女たち」

ジョン・マルコヴィッチ

「マルコヴィッチの穴」

ステファニア・サンドレッリ

イレーネ・パパス

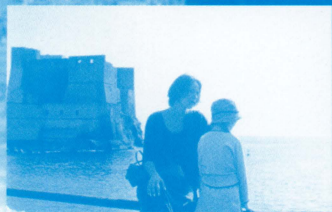
レオノール・シルヴェイラ

永^{とわ}遠の語らい



2003年/ポルトガル=フランス=イタリア合作/95分/原題: Um Film Falado/配給: アルシネテラン・キノキネマ/協力: 株式会社サド・エンタテインメント

どこまでも続く広い空、紺碧の海。
新たな出会いをのせて、悠久の船旅が今はじまる。



長い長い人間の歴史と文化の足跡を辿る航海一。

ボンベイにいるパイロットの父親に会うために、ポルトから旅立った歴史学の教授である母(ローザ)と娘(マリア)の船旅は、今なお西洋文明に大きな影響を残し続けている、幾千年にも渡る地中海文明をめぐる遙かなる時空の旅だった。ローザが語りかけるオデュッセウスやローマ神話の物語は、どれもこれもマリアに新鮮な驚きを与える。「人間ってどうして戦争をするの?」「モスクってなに?」「中世ってなに?」マリアの好奇心は留まることを知らない。

「見知らぬ人と出会い、新たな友情を結ぶ。こんな船旅は心のオアシスね」
今宵、船上で語らいを。

ローザとマリアが船上で出会うのは、船を住まいとするアメリカ人の船長、フランス人起業家のデルフィース、そして元モデルでイタリア人のフランチェスカ、女優であり教授であるギリシャ人のヘレナという個性豊かな面々たち。異なる国で、異なる人生を歩んできたパワフルな女性たちと、船を家として生きている船長の囲んでいるテーブルでは、フランス語や、ギリシャ語、イタリア語に英語、ポルトガル語など各国の言語が入り混じりながら会話が交わされる。

95歳の巨匠オリヴェイラに集う豪華なキャスト陣

「観客が積極的に参加し、映画がそれ以上の何かを伝えるものであって欲しい」と語る95歳の巨匠マノエル・ド・オリヴェイラ監督のもとに集ったのは、カトリーヌ・ドヌーヴ、ジョン・マルコヴィッチ、ステファニア・サンドレリ、イレーネ・パパスという個性豊かなヨーロッパ各国の豪華キャストである。最新作では古代遺跡の美しい名所と雄大な地中海を舞台に、歴史と人々との交流を映像美豊かに描きながら、人間の生き方について静かに語りかけている。

「私は前向きに生きているの。
自分の芸術に生きるほど幸せなことはないわ。」

「航海している者からすれば、
海は魅力的であると同時に心を和ませる
—美しい恋人と同じだ」

「この世界に力と希望を
与えてくれるものは・・・?」

監督・脚本・台詞：マノエル・ド・オリヴェイラ

製作：パウロ・ブランコ 美術：ゼ・ブランコ 衣装：イザベル・ブランコ 撮影：エマニュエル・マシュエル

出演：カトリーヌ・ドヌーヴ ジョン・マルコヴィッチ ステファニア・サンドレリ イレーネ・パパス レオノール・シルヴェイラ

2003年/ポルトガル=フランス=イタリア合作/95分/35mm/カラー/1:1.66ヴィスタサイズ/ドルビー-SRD/原題：Um Film Falado

配給：アルシネテラン・キノキネマ/協力：株式会社ナド・エンタテインメント/宣伝：アルシネテラン <http://www.alcine-terran.com>

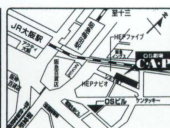
© Madragoa Filmes, Gemini Films, 2003

永遠の
語らい

8月、船出のロードショー

特別鑑賞券好評発売中 ￥1,300(当日￥1,800のところ)
オリジナル・ポストカード付き(劇場窓口のみ・先着限定)

梅田HEPファイブ東南カド シネマ横丁
OS
劇場 C.A.P
☎06(6311)2478



<http://www.osgroup.co.jp>